

長岡市が原発からの「避難計画」を全戸に配布 被ばく前提で、「安全と安心」とは?!



市民の素朴な疑問について 原発ゼロネット 長岡市に申し入れ

長岡市は四月に、昨年十二月に策定した「避難計画」の概要版（保存版）を全戸配布しました。これに対し市民から、「被ばくの低減を図る」と被ばくが前提の計画はおかしい、県のシミュレーションで放射性物質の拡散の危険がある栃尾や魚沼が避難先とは信じられない、避難先は書かれているが一番心配している交通渋滞対策がないなど、素朴な疑問や不安が寄せられました。

こうした市民の声にもとづき、原発ゼロネットは四月十一日、市に対し「長岡市の『保存版』に関する申入書」（別添資料）を提出しました。ゼロネットはこれまで長岡市が策定した「避難計画」は実効性がないと繰り返し申し入れをしてきましたが、市は市民に配布の「概要版」で回答に替える、の一点張りでした。そこで今回は、出された「概要版」を踏まえて申し入れたものです。

許せない!

市民の申し入れに

「回答せず」の理不尽な態度

申し入れは概ね二週間以内に回答を求めたものでしたが、対応した原子力安全対策室の課長は今回も、「市民のみなさんに保存版の内容を理解してもらおう。意見はその際生かす」というのみで、申し入れの内容について検討もせず、回答はしないとする態度に終始しました。

柏崎刈羽原発の再稼働に向け、市民の安全は二の次に、「避難計画を作成した」「市民に周知した」というアリバイ作りを急いでいるとしか考えられません。また、「実効性ある避難計画」を追求すれば廃炉に行き着くことを避けたいのかも知れません。長岡市の理不尽な態度と原発の危険性を広く伝えましょう。

高浜原発運転差し止め 3/9 大津地裁画期的判決!

<弁護団長 井戸謙一さん語る>
決定により史上初めて現実に動いている原発が止まりました。これは「命と琵琶湖を守ろう」と勇気をもって申立人になった人たち、申立人を支えた人たち、そして全国で原発ゼロを希求しているたくさんの人たちの力のたまものです。

原発ゼロ長岡市民ネットの会員更新がまだお済みでない方へ

新年度は、昨年12月から今年の11月となっています。年会費千円を納入して頂くと更新となります。引き続き会員になって頂くことが、原発をなくす運動の大きな力となります。更新がまだお済みでない方は、ぜひとも更新して頂きたくよろしくお願いいたします。振込用紙を同封させて頂きましたので、4月末日を目途に手続きをお願いいたします。(近くの世話人に渡して頂いてもよいです)

◆次回の街頭行動 5月11日(水) 16:30~17:30 アオーレ前 ご参加を!

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第53号 2016年4月13日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 24-2870
矢引 090-3063-6365 佐藤 090-4925-3707